

1 単元構想

本単元で身に付けたい力

引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書く力

言語活動とその特徴

本単元では、市外の学校(潮江東小)の5年生に、四万十市の文化について伝えたいことを、グループでパンフレットにまとめて紹介するという言語活動を設定している。パンフレットにまとめることで、複数の資料や本から自分の考えに合う必要な情報を選んで説明の構成を考えたり、書き表し方を工夫したりすることができる。と考える。

教材の特質

本教材は、伝統的な文化に関するものの中でも児童が想起しやすい和菓子を題材としている。また、「歴史」「他の文化との関わり」「支える人々」の3つの観点から説明するという構成は、その後のパンフレットを書く活動へとつなげやすい。さらに、写真や図表などの資料が用いられており、文章と関連付けて考えることに適した教材である。

児童の実態

児童は、4月に行われた標準学力調査の「自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書く」の項目では、目標値60%の所学級平均正答率85%であり、全国に比べ書く力が付いている様子である。  
児童は6月にタブレットを用いて、環境問題の報告文を書く学習を行った。児童は、伝えたい内容に合った資料を選んだり、資料から分かったことや考えたことを詳しく書いたりすることはできていた。しかし、出来上がった報告文を見ると、情報の出典を示すことの指導が十分でなかったと感じる。

指導観

4年生の同系統の学習「みんなで新聞を作ろう」では、写真や図の取り入れ方や見出しの付け方を工夫し、読み手に分かりやすく伝える学習をした。また、5年生6月の同系統の学習「環境問題について報告しよう」では、伝えたい内容に合った資料を選び、資料と文章の関連を意識して、報告文を書く学習を行った。  
本単元では、内容を相手に分かりやすく伝えるために、必要な語句や文を引用したり、書いた文章との関係を考え効果的な資料を選んだりして、書き表し方が工夫できるようにする。  
本系統は、6年生「防災ポスターを作ろう」で表現の効果を考えながら書く学習へとつながっていく。

2 単元の目標及び単元の評価規準

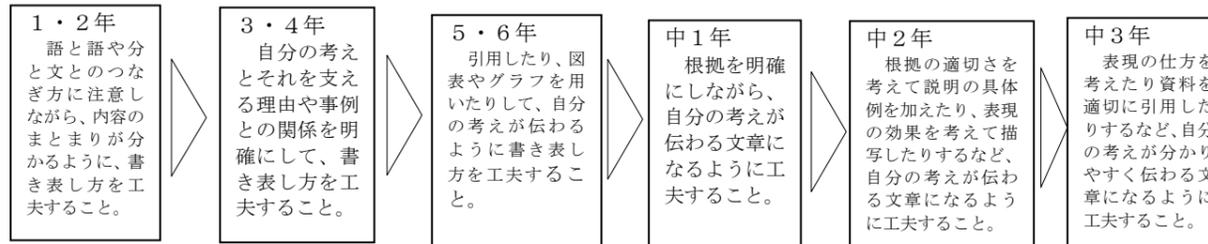
(1) 単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができる。 (2)イ	「書くこと」において、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 B(1)エ	粘り強く、文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって事象を説明する文章を書くことができる。

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使っている。 (2)イ	「書くこと」において引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 B(1)エ	粘り強く、文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって事象を説明する文章を書こうとしている。

3 資質・能力の系統性

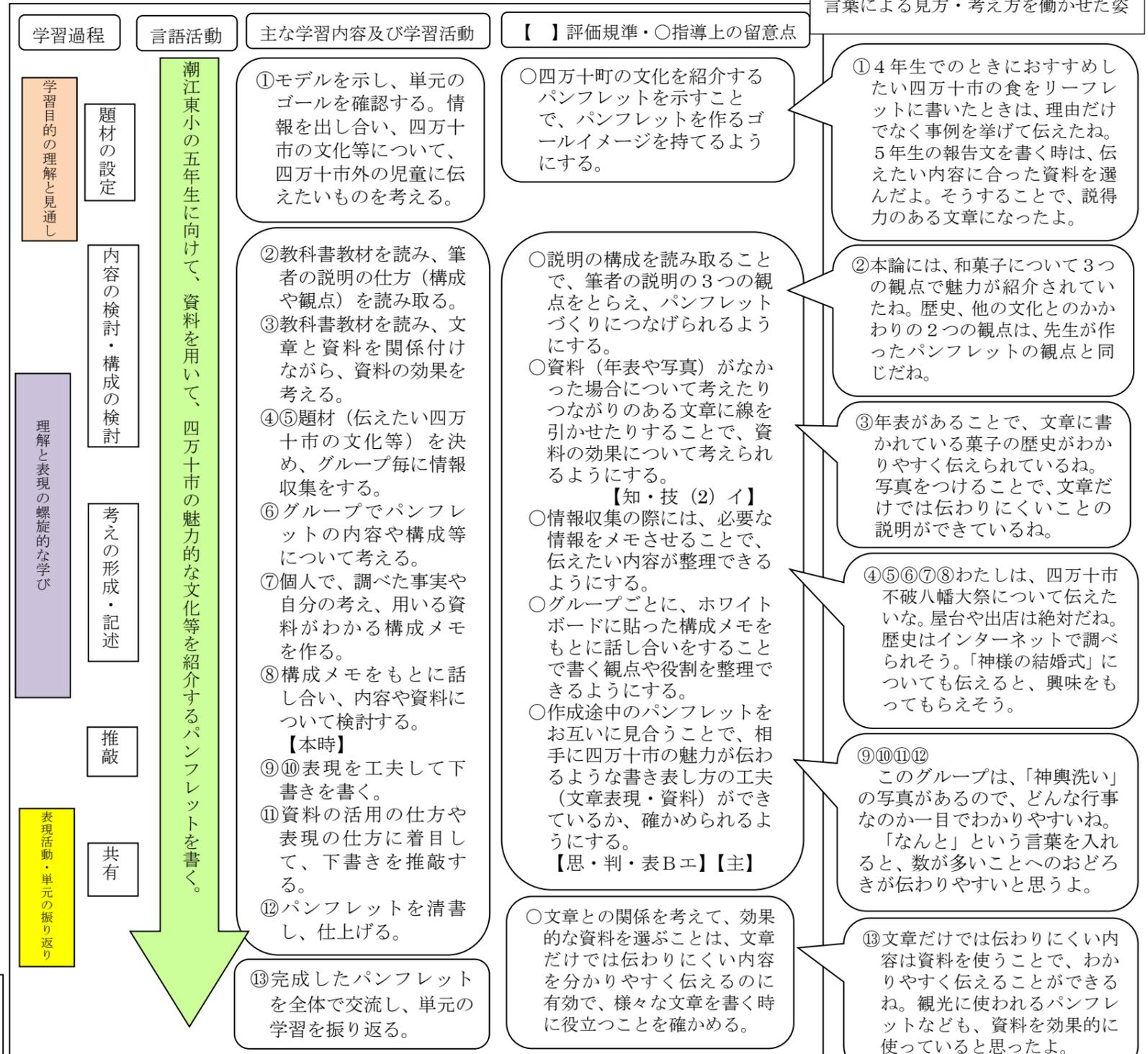


4 研究主題に迫る手立て

研究主題:主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりー各教科等の見方・考え方を働かせてー

- 「四万十市外の児童に四万十市の魅力的な文化等を紹介するパンフレットを作る」という明確な相手意識、目的意識を持たせることで、主体的に学習が進められるようにする。
- 自分たちの伝えたい思いや考えに合った資料になっているか検討する時間を作ることで、資料と文章とのつながりや資料の効果について考えを深められるようにする。

5 学習の流れ



6 本時の学習 (8 / 13 時間)

(1) 目標

友達のアドバイスをもとに、自分が選んだ事実や資料をよりよいものに見直すことができる。

(2) 展開

	学習内容及び学習活動	主な発問等 (○) 予想される児童の反応 (・)	指導上の留意点 (●) 評価規準及び評価方法 (☆)
導入	1. 前時までの学習を想起し、今日の学習課題に見通しを持つ。	○パンフレットを作って、伝えたいことは何ですか。 ・四万十市の○○を見にきてほしい。 ・○○に来てほしい。 ・○○で遊んでほしい。	●パンフレットづくりの目的を尋ねることで、構成メモを見ながら各自が伝えたいことを確認できるようにする。
		めあて 友達のアドバイスを生かして、自分の考えに合った内容や資料になっているか、検討しよう。	
展開	2. 友達に聞きたいことを確認する。(全体)  3. 友達と交流し、アドバイスをもらう。(グループ→全体)  4. 友達のアドバイスをもとに、自分の考えに合った内容や資料になっているか、検討する。(個人)	○今日、友達に聞こうと思っていることは何ですか。 ・ぼくは、中の所に○○の情報を入れようかどうか迷っているので、そこを聞きたいです。 ・わたしは、○○の資料はこれでいいか、確かめたいです。  ○友達からアドバイスをもらって、参考になったことをメモしておこう。 ・□□のおどろきを伝えたいなら、数の多さがわかるように、この数字の情報は絶対入れたほうがいいね。 ・数の多さを伝えるなら、全体の様子がわかる写真を使うといいと思うよ。  ○友達からアドバイスをもらって、どうすることにしましたか。 ・◇◇さんに◇◇というアドバイスをもらったので、◇◇することにしました。	●前時の個人での検討の際に、友達に聞きたいことを明確にしておき、付箋に書いておくようにする。 ●本時までに友達を作った構成メモをホワイトボード上に貼っておき、アドバイスができるように事前に読ませておくことで、本時の交流活動にスムーズに入れるようにする。 ●途中で交流の仕方に困っているグループがいる等した場合は、全体で取り上げ、よりよい交流の仕方がつかめるようにする。 ●前時の個人活動で選ばなかった付箋や資料等をグループ毎にホワイトボードに貼っておくことで、検討する際の手がかりとなるようにする。 ☆友達のアドバイスをもとに、事実や資料の付箋を選択し直したり付け加えたりしようとしている。 【思・判・表Bエ】 (ワークシート・ノートの記述)
まとめ	5. 学習を振り返る。	○交流前の構成メモと比べて、どう変わりましたか。 ・わたしは資料を変えたので、自分の考えが伝わりやすくなったと思います。	●本時の構成メモの活動が、次時からのパンフレットの下書きの文章を書く活動につながっていくことを確認する。

(3) 板書計画

ふり返り  
交流前の構成メモと比べてどう変わったか

聞きたいこと

- ・事実の情報を入れたらいいかどうか
- ・資料はこれでいいか
- ・分かりにくい所はないか

※選ばなかったふせん ↓ 参考になるかも

めあて  
友達のアドバイスを生かして、自分の考えに合った内容や資料になっているか、検討しよう。

終わり	中		はじめ	考え・事実
□	□	□	□	
	□ □			資料

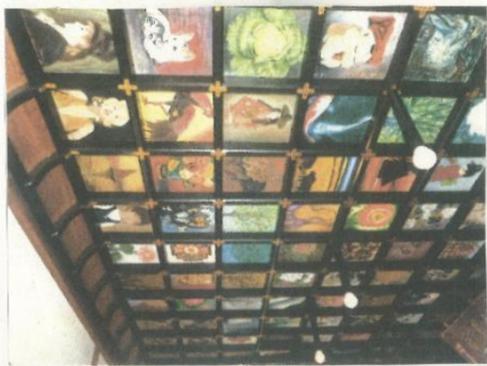
○本時で働かせたい言葉による見方・考え方

友達のアドバイスをもとに、自分の考えと調べた事実や資料のつながり確かめ、内容や資料について検討している。

○主体的・対話的で深い学びを生み出すため工夫

交流で伝えるとよいことを確認することで、交流の視点を明確にする。また、友達からのアドバイスで参考になったことをメモさせることで、アドバイスを振り返りながら検討を深められるようにする。

言語活動のモデル



〔岩本寺の天井の様子〕

このように、岩本寺はお寺の改築をきっかけに、他のお寺にはない特徴を生み出し、発展してきました。575枚の絵は今も、岩本寺を訪れるたくさんの方の心を動かしています。

そして、岩本寺には、他のお寺にはない特徴があります。みなさんは、お寺の中に絵がかざられているのを見たことがありますか。岩本寺の天井には、たくさんの方の絵がかざられています。調べてみると、岩本寺の天井にはなんと全部で575枚の絵があると分かりました。一辺が45センチメートルの正方形の板に、花や動物、人やヨットなど様々な絵がえがかれ、かざられています。

では、なぜ様々な種類の絵がお寺の天井にかざられているのでしょうか。

天井に絵をかざるとは、今から四十年前ほど前にお寺を改築するときがきっかけです。様々な人にお参りに来てほしいという願いから、お寺の人たちが三年かけて絵を募集し、これだけの数を集めたそうです。その時に四万十町にいた画家や美術の先生などがいた絵が、今も天井にかざられているとわかりました。

わたしは動物が好きなので、岩本寺に行ったときは、ついねこや馬の絵を見てしまいました。ちん下橋の絵もあると知ったので、今度行ったときは採ってみたいですね。